

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	協働の「地域づくり大学校」事業（泉区まちづくりみらい塾）	
事業の実施者	団体等	泉区まちづくりみらい塾 認定NPO法人市民セクターよこはま
	行政	泉区役所区政推進課
事業の目的	連合自治会町内会、各自治会町内会、地区経営委員会、NPO、学校・地域ボランティアなどで活動する地域まちづくりの活動者が、多様化する地域課題などを考え、協力し合いながら解決する力を身に着ける。	
事業の内容	<p>講義、グループワーク、現地見学会を通じてまちづくりの実践を学ぶ</p> <p>第1講 講義「ドボク的なまちのみかた」「まちづくりの事例とポイント」</p> <p>第2講 まち歩きとマップづくりを通して学ぶまち歩きの方法</p> <p>第3講 リレートーク（卒業生による実践活動事例の発表）、区内現地見学</p> <p>第4講 講義「泉区の地域自治について」「下和泉住宅のまちづくり」、課題解決のための 私のまち「マイプラン」の作成</p> <p>第5講 区外現地見学（金沢区「さくら茶屋にししば」戸塚区「ふらっとステーションドリーム」他）</p> <p>第6講 卒業発表、卒業式</p>	
役割及び責任分担等	別紙のとおり	
実施期間	平成26年6月6日～平成27年3月31日	

記入日	平成27年4月1日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名：泉区まちづくりみらい塾 ・記入責任者 氏名：塾長 佐久間 幹雄
	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名：泉区役所 ・記入責任者 氏名：区政推進課地域力推進担当課長 千田 満 連絡先：800-2325
	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名：認定NPO法人市民セクターよこはま ・記入責任者 氏名：吉原 明香 連絡先：222-6501

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

① 事業計画段階

		みらい塾	セクター	泉区役所
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	A	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めてことができましたか。	A	A	B
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	B	A	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合っよく理解することができましたか。	B	B	B
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	B	A

② 事業実施段階

		みらい塾	セクター	泉区役所
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	A	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	B	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A	B
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	B	B
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	B	B
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	B	C

③ ふりかえり段階

		みらい塾	セクター	泉区役所
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合っ共有できたか。	A	B	B
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	A	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	B	A	A
4	期待された事業成果を得ることができたか。	A	A	A

2 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

<共有できたこと>

事業の目的や目的に沿ったプログラムの内容、講師の選択、回数、時間など、十分に話し合っ共有できた。

区内には、既に素晴らしい取組みが数多く存在することをともに認識し、区外のみならず区内にも目を向け、フィールド先として選定することを確認しました。

<認識に違いがあったこと>

協働三者それぞれの役割について、状況に応じてその都度決めていく傾向があり、計画段階でははっきりとした分担はできていなかった。

【今後改善が必要と思われること】

役割分担については、計画段階で三者が共有した上で、事業を進める中で状況に応じて変更できるようにした方が良くと思われる。

事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

<共有できたこと>

参加者の意見を反映させること、参加者が共感できるような講師の選択、実際の活動に活かせるようなプログラムなど、三者で共有することができた。

毎回、講座前にタイムスケジュールや役割分担の確認のための詳細な打ち合わせを行い、全体的な流れの共通認識、役割認識ができており、そのため当日も状況に合わせて柔軟に対応できた。

<認識に違いがあったこと>

事業の運営については三者で認識を共有できていたが、広報の充実については共有されていなかった。支出の内訳、支払方法など、経費に関する事項について綿密な打合せが不足していた。

【今後改善が必要と思われること】

事業を広く知ってもらうため、参加者募集時のみではなく、開催経過などについても広報していくことが必要。この場合も、三者それぞれが得意分野で分担して実施する必要がある。

運営費や謝金などの支払い先、金額、支払方法など、少なくともNPOと区の間では、細部まで打合せし、共通認識をしっかりと持つことが必要と思われる。

事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・ **泉区まちづくりみらい塾**は、実際に地域で活動してきた経験を活かし、地域に密着した実践的なプログラムを組むことができた。
- ・ **市民セクターよこはま**は、泉区まちづくりみらい塾による司会進行の運営サポートや、ワークショップ実施、資料作成や会場手配等の講座運営、見学先調整等に通じており、効率的な運営が実施できたとともに、蓄積された情報やこれまでの活動経験から、みらい塾役員と共に検討した企画を効果的に実現することができた。
- ・ **泉区**は、区内の情報の蓄積を生かし、現在の区の状況や地域活動を取り入れることができた。
- ・ **参加者**からは、講座で学んだことを活かして、実際に活動を始めたり、既存の活動の中で工夫したりしているという声が聞かれる。また、本事業の運営に携わってみたいという方も出ている。

自由記入欄